



飯南町秋季畜産共進会

9月25日(金)

飯南町畜産センターで「令和8年度飯南町秋季畜産共進会」を開催し、「子牛の部」に15頭、「種牛の部」に5頭が出品されました。結果は次のとおりです。

【子牛の部】
 ●首席 大塚雄嗣 愛牛「こはる」
 ●次席 那須貴宏 愛牛「みふゆ5」
 ●三席 渡部雅弘 愛牛「らぶぶ」
 ●四席 大塚寛之 愛牛「みくふじ」
 ●五席 (農)かわしり 愛牛「めぐふじ」

【種牛の部】
 ●首席 渡部雅弘 愛牛「ひめの」
 ●次席 (農)かわしり 愛牛「ゆりな」
 ●三席 渡部雅弘 愛牛「ももか」

(敬称略)
 各部の首席・次席牛は、「島根県畜産共進会」に出品されます。



飯南町・伊丹市 姉妹都市の森 苗木里親プロジェクト

9月26日(土)



緑豊かな森を目指し苗木を植えました

姉妹都市 伊丹市民が飯南町・伊丹市 姉妹都市の森(角井)で植林活動を行いました。この活動は「飯南町・伊丹市 姉妹都市の森 苗木里親プロジェクト」の環で実施。植林に使う苗木は、伊丹市民などが本町から送ったドングリを育てたものです。小雨が降る中、伊丹市民が苗木を1本ずつ丁寧に植林。豊かな森づくりの土台を築きました。

本町と伊丹市は脱炭素社会実現に向けた連携協定を結んでおり、今後も連携して脱炭につなげるさまざまな事業に取り組みます。



AKOMEYA TOKYO店舗内に特設ブースをオープン

10月1日(木)～1月6日(水)



特産品販売やまちの情報発信を行います

地域活性化包括連携協定を結ぶ「株式会社AKOMEYA TOKYO」(東京都)店舗内に、飯南町特設ブースを期間限定でオープンしました。

これまでもAKOMEYA TOKYOの店舗では、飯南米の試食会、しめ縄づくりワークショップなど多様な企画を実施。飯南町のファンづくりに取り組んできました。

約3カ月の長期間ブースを設置することで、本町の魅力を直接体感してもらい、認知度やブランド力を高め、関係人口の拡大を図ります。



少年の主張島根県大会で最優秀賞



塚原町長を表敬訪問した市山さん(中央)

中学生が日頃考えたり感じたりしたことを広く発表する「少年の主張島根県大会」が安来市で開催され、頓原中3年の市山結優さんが最優秀の県知事賞に輝きました。

市山さんは「誰かの靴を履いた景色」と題し、先入観にとらわれず相手の価値観を認めることの大切さを、自身の経験をもとに発表しました。

10月1日には塚原町長を表敬訪問。日頃抱いている思いや、発表の際工夫していることなどを話しました。



備えよう 命を守るために 防災研修会

10月5日(月) 来島交流センター

「自分の命は自分で守る、みんなで支え合う地域へ」と題し、来島ビジョン推進会議主催の防災研修会が開催されました。

NPO法人減災教育普及協会の江夏猛史さんを招き、来島小児童向け・住民向けの2部構成で実施。地震体験マットによる揺れの体感など、実際の状況に応じた判断力を養う訓練を行いました。



地震の揺れのなかで避難するのは大変



初開催! 秋の山を駆け抜ける

琴引山 TRAIL RUNNING 2026

10月4日(日) 琴引山周辺

有志による実行委員会が主催した本大会。県内外から189人の参加者が秋の飯南に結集しました。トレイルランニングとは、山道や林道など未舗装の道を走るスポーツ。コースは琴引スキー場入口から町道琴引大万木線を経て草峠へ向かう道路区間11kmと、和恵縦走路を抜け琴引山を駆け降りる林間区間9kmの全長約20km。参加者は、颯爽と山の中を駆け抜けました。



苦しくてもカメラの前ではみんな笑顔



コスモス畑に弾ける笑顔 第34回コスモス祭

東三瓶コスモス祭実行委員会主催の「コスモス祭」が開催されました。

恒例のサツマイモ掘り、ヤマメのつかみ取りは長蛇の列ができるほどの人気ぶり。ステージでは、地元のキッズダンスグループや飯南神楽団が登場し、イベントを盛り上げました。

町内外から訪れた約7千5百人の来場者は、まちの魅力がつまった賑やかなイベントを楽しみました。



地元のおいしいグルメも大きな楽しみ



会場には子どもたちの歓声が響きました